委員会活動計画

クラブ奉仕・管理運営委員会 委員長 渋谷忠明

基本方針

出席したくなるような例会を目指します。会員が充実したクラブライフを送れる様にサポートしていくことに努めていきます。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | プログラム情報委員会と連携し、楽しい例会を目指します。 |
| ２． | 会報・雑誌委員会と連携し、会員向けにロータリークラブの情報を発信していく。 |
| ３． | 会員増強退会防止委員会と共に、新規会員の発掘を目指していく。 |
| ４． | 親睦・出席委員会と共に楽しい親睦事業を行う。 |

◎プログラム・ロータリー情報委員会 委員長 石井眞一

基本方針

会員がロータリーを十分理解して、その特典と責務を把握できるような情報を提供し、ロータリアンにとって有益で魅力的なプログラム作成を行う。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 地区や卓話バンクを利用し、ロータリー月間に因んだ有意義な例会を行う。 |
| ２． | 会員の意見を取り入れ、プログラムの見直しを随時行うようにする。 |
| ３． | 会員が最低月1回の例会参加を可能にできるようなプログラムを工夫する。 |

◎会報・雑誌委員会 委員長 廣井慎一

基本方針

ロータリーに関する会報・雑誌（ロータリーの友、ガバナー月信）、インターネット速報（ハイライトよねやま）等から、ためになる情報を提供し、クラブ活動に反映させる。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 毎月ロータリーの「友」の紹介をし、RIの活動やRI会長のメッセージを共有する。また、地区内外の活動状況を紹介しロータリーの関心や知識を高める。 |
| ２． | 会報を通じて、クラブ内活動やタイムリーなロータリー情報を会員へ提供する。 |

◎会員増強・退会防止委員会 委員長 仁部前崇

基本方針

会員増強退会防止委員会が中心となり、全会員の協力を得て、新入会位候補者の情報を共有する、そして長期欠席者が一人もないクラブになるよう努める。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 若い世代、女性会員の入会促進。 |
| ２． | 退会防止のため入会３年未満の集いを実施。 |
| ３． | 他部門、特に奉仕部門との連携強化。 |
| ４． | 長期欠席者をなくすため、毎月1回は例会に参加できるよう他委員会と協力 |
| ５． | 会長と会員増強・退会防止委員長と連携を密にする。 |

◎親睦・出席委員会 委員長 石塚幹正

基本方針

会員増強・退会防止委員会と協力し、長期欠席者がないよう親睦活動を工夫する。家族例会や親睦旅行などはマンネリ化を防ぎ新しい試みにチャレンジする。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 毎月第一例会に会員の結婚・誕生祝を行い、第四もしくは第五例会に夜間例会を行う。 |
| ２． | 他クラブの合同例会の案内や親睦活動には積極的に参加する。 |
| ３． | その他、プログラム委員会、職業委員会、社会奉仕委員会と連携し、メイキャップツアーや企業視察・会社訪問など例会場を出ての例会を企画する。 |
| ４． | 12月のクリスマス会は、都心部のレストラン、ホテル等で行う。 |
| ５． | 6月には、2泊3日規模の国内親睦旅行を行う。 |

職業奉仕委員会 委員長 馬場茂明

基本方針

ロータリーの根幹である職業奉仕を理解し、ロータリークラブにおいての職業奉仕の重要性を保持しながら地域社会に貢献できる奉仕活動を行う。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 企業視察を行う。 |
| ２． | 職業に通じたクラブ内外の卓話を行う。 |
| ３． | 青少年の職業体験受け入れに協力する。 |

社会奉仕委員会 委員長 宮田雄一

基本方針

ロータリアンにとって奉仕は社会的責務だと認識するとともに、地域社会のニーズに合った奉仕を調査し地域の人々の生活の質を高める

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 地区補助金を活用し社会奉仕事業を行う（杉戸町音楽祭） |
| ２． | 10周年により町内小学校6校の「あいさつ運動」を強化 |
| ３． | 流灯まつりにおいて東日本震災復興支援(募金活動、地域交流)を行う |
| ４． | ポリオ撲滅運動(ペットボトルキャップ回収、他事業にあわせて随時) |
| ５． | 地域社会団体への支援(すぎスポ、杉戸町障がい者協議会、東埼玉病院市民講座) |
| ６． | 新規事業の開拓（会員一人1本の植樹、献血運動、バス停ベンチ寄贈、など） |

国際奉仕委員会 委員長 栗原偉憲

基本方針

国を超えて活動している諸団体や個人、又ロータリークラブを招き、クラブに対し国際奉仕活動を身近に感じてもらう。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | ロータリー財団、米山奨学生支援による国際奉仕活動推進 |
| ２． | 海外友好クラブ設立の為の調査 |
| ３． | 地域国際支援団体への支援 |
| ４． | 国際大会参加への推進 |

青少年奉仕委員会 委員長 戸賀崎千夏

基本方針

地域の青少年に、ロータリーのプログラムに参加してもらい、ロータリーの国際理解・親善・平和の推進を理解してもらう

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 2017-18年度 ライラ研修への参加と報告会の開催 |
| ２． | 町内小学校「あいさつ運動」における社会奉仕委員会との連携 |
| ３． | 「杉戸町音楽祭」開催における社会奉仕委員会との連携 |

ロータリー財団委員会 委員長 関口博正

基本方針

ロータリー財団100周年という年であるということを認識し、財団設立の原点に思いを馳せ、全会員にその使命の理解に努める。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 財団地区目標の達成を果たす。（会員一人当たり、年次寄付200ﾄﾞﾙ ポリオプラス50ドル） |
| ２． | ベネファクター1名以上 なるべく初めての人 |
| ３． | グローバル補助金にチャレンジ（基本的教育識字率の向上、水と衛星） |
| ４． | 新地区補助金の活用。 |
| ５． | 財団奨学生の発掘 |

米山記念奨学委員会 委員長 矢島紀一

基本方針

米山記念奨学事業は、外国留学生を支援する「知的国際貢献事業」であり、その目的を会員が理解し更なる寄付の増進に努める。

具体的運営方針

|  |  |
| --- | --- |
| １． | 会員一人あたりの寄付目標額25,000円以上達成 |
| ２． | 米山記念奨学会への理解を促進するため、月間に限らず外部卓話を開催 |
| ３． | 毎月米山寄付状況の発表 |